

令和6年度第3回刈谷市都市計画審議会 議事録

1 開催日時

令和7年1月17日（金）午後1時30分～午後2時10分

刈谷市社会教育センター 401研修室

2 出席委員

瀬口哲夫（会長）、磯部友彦、加藤英樹、加藤彰夫、早川孝二、鈴木勝之、細井真司、
神谷昌宏、外山鉦一、揚張慎一、伊藤愛恵、加藤幹樹、山本シモ子、藤嶋謙司、竹内久
敬、深谷光秀、丸山佐智

3 欠席委員

加藤廣行

4 市関係職員

都市政策部長、まちづくり推進課長、都市交通課長、担当職員9名

5 傍聴者

なし

6 議題

議案第1号 西三河都市計画道路の変更（刈谷市決定）

諮問第1号 西三河都市計画道路の変更（愛知県決定）

7 会議内容

開会

会長挨拶

議事録の公表について

- ・刈谷市附属機関等の会議の公開に関する指針に基づき、刈谷市ホームページにおいて一般公開

審議会成立条件の報告

- ・18名の委員のうち、17名が出席

- ・刈谷市都市計画審議会条例第7条第3項に基づき「委員の半数以上」の出席であるため、審議会は成立

議事録署名者の指名

- ・議事録署名者 深谷光秀委員

議案審議

(1) 議案第1号 西三河都市計画道路の変更(刈谷市決定)

(2) 諮問第1号 西三河都市計画道路の変更(愛知県決定)

議長(瀬口会長)が議案についての説明を求める。事務局(まちづくり推進課)が提出した資料に基づき、都市交通課長より説明、以下のとおり質疑が行われた。

(2つの案件に関連があるため一括審議)

磯部委員 1つ目が、今回の市道と県道を一部交換し、名称を改めるという話なんですけど、そもそも現状として駅周辺の道路交通がどのような状況なのか気になります。要は何かといいますと、南北4車線の道路(中手新池線)と東西2車線の道路(半城土広小路線)の関係がどうなっているのか、また、駅前広場と道路が混在しており煩雑だと言うんですけど、具体的に車両がどのように流れてるのか知りたいです。その流れを聞いた上で、今回の路線の整備統合が妥当なのかを確認したいなと思います。

もう1つは、新しい駅前広場の形なんですけど、たくさん自動車が集まった場合、オーバーフローするのかわからないのも懸念されます。現状が分かってないので何とも言えないんですけど、オーバーフローした場合、どのような形態で駅前広場に入る車両を整理するのか。また、そういう待機の車両が発生するかもしれないから、駅前の道路変更により幹線の流れから外すことで幹線へスムーズに流せるので、多少、駅前は車両が集まってもしょうがないという考えでいるのか確認させてください。

いかがでしょうか。

都築都市交通課長 中町線の交通量でございますが、令和5年7月の平日に調査しましたところ、自動車は1日あたり約3,000台、半城土広小路線の交通量は、1日あたり約5,000台でございます。南北に走る2車線の中手新池線でございますが、この区間の交通量に関する資料は持ち合わせてございません。

また、駅前広場につきましては、多くの車両で滞留が発生する可能性はありますが、道路交通に影響を与えないようロータリー形状としておりまして、駐車台数につきましても、現在の鉄道の利用者から推計した駐車台数としております。

磯部委員 結論として、交通の流れに沿った形での区分変更になっており、また、交通量から勘案した結果が提案されている内容という解釈でよろしいですか。

もう少し言うなら、駅前広場は、もし待機車両が道路上にあふれても、この駅前通りが大きい流れの幹線系から外れるという解釈で、多少の滞留はやむを得ないという判断になるのかなと思いましたので、この新たに提案された道路ネットワークの方が望ましいと思っていますが、それでよろしいでしょうか。

都築都市交通課長 おっしゃる通りでございます。

瀬口会長 図面番号4で「中手新池線（4車線）」と書いてありますが、これは今の発言だと2車線なんですか。これは図面が間違ってるということですか。

都築都市交通課長 こちらは暫定ということです。

瀬口会長 刈谷市駅のオーバーフローの話ですけど、乗降客数は1日何人ぐらいですか。

都築都市交通課長 今の刈谷市駅の乗降客数でございますが、1日当たり令和5年度で5,394人となっております。

瀬口会長 約5,000人だと、ちょっと多いなという感じですね。印象としては閑散としてる印象ですが。

都築都市交通課長 ちなみに他の駅の1日の乗降客数は、富士松駅が3,316人、一ツ木駅が3,544人で、小垣江駅が3,436人となっております。

瀬口会長 他の中心じゃない駅に比べると1,500人ぐらい多いということですね。

山本委員 図面4枚と、議案と諮問を一緒に報告いただきましたが、私が気になってるのは、今も磯部委員からも質問されておりましたけれど、図面番号1の最後に説明のあった刈谷市駅前広場詳細図のところですか。

ここはロータリーにするとありました。今もロータリー状態ですが、どのように変わるか、この図面から把握ができませんでしたので、もう少し説明いただけますか。

都築都市交通課長　今の状態でございますが、図面番号1の右上の変更前の図を見ていただくとお分かりいただけると思いますが、駅前広場の中に、車道が中央分離帯を介して南向きと北向きに通っておりまして、駅前広場を通過して半城土広小路線の方に行くという形になっております。

西から東、つまり下屋敷線から半城土広小路線に向かうとすると、一旦ロータリーの中に入っていきたいき、ロータリーをまわって半城土広小路線の方に出ていくという形になっておりまして、駅利用者と自動車交通が混在しているという状況でございます。

山本委員　その混在をなくすということですか。

都築都市交通課長　おっしゃる通りです。

山本委員　いつも見てる駅で、私も使っておりますが、下屋敷線という名称を初めて認識しました。今は、ロータリーの中をまわるようになってますが、それを解消するということは、例えば、愛三ビルがある方の道路はそのままの状態、ロータリーだけを整理するのですか。

都築都市交通課長　図面番号1の右側、道路ネットワーク図の変更前と変更後を比較していただくとわかるかと思うのですが、現在、駅前広場の中に車道が入ってるところを、駅前広場のロータリー部分と車道を分離することで、駅を利用する歩行者の方については、駅前広場の鉄道沿いを安全に歩いていただけるという形になっております。今は下屋敷線から半城土広小路線に西から東へ向かうためにはロータリーの中を回らなければいけないという話をさせてもらっておりますが、今回の道路変更により回らなくても直進で行けるように自動車交通を誘導していくという形で考えております。

以上でございます。

山本委員　図面はありますが、なかなか読み取れなく、ロータリーといった大がかりな整理になるのは想像ができるんですが、もう少し理解していきたいと思っています。

交通の便を良くするのと、利用者へ影響がないようにするのと、2つの整理という理解ですが、今、市駅前が開発が行われていると思いますが、そこは説明していただけるのでしょうか。

都築都市交通課長　今回の議案に関しましては、都市計画道路の変更ということで、都市計画道路の延長とか、そういった部分を認めていただく形になります。

山本委員　今回の件が決定されてから、事業整備になるということで、その先のことはまだ説明できませんよという理解でいいですね。今回の提案ではないということもわかりました。だから、今回の決定がされたら、今後、整備内容を決めていくということを認識しておけばいいですね、確認です。

都築都市交通課長　中町線につきましては、現在3 mの歩道幅員を3.5 mに拡幅して、にぎわいに資する道路にしていくということを考えておりますが、詳細につきましては、今後検討していきたいと考えております。

加藤幹樹委員　多分、公安協議になってくると思うんですが、ロータリーにある信号機はなくす方向ですか。今回の件とは外れてしまいますけど、そこだけお聞かせください。

都築都市交通課長　刈谷市駅の西側にある信号のことですね。こちらにつきましては撤去するということで警察と協議を進めております。

加藤英樹委員　今度新しく三叉路になると思うんですが、そこには信号がつくんですか。

都築都市交通課長　半城土広小路線と中町線の交差点のところだと思われますが、こちらにつきましては警察との協議で、信号機をつけないという整理ができております。

瀬口会長　今の質疑は半城土広小路線と中町線の交差点、三叉路のところですね。道路の位置変更と、それから刈谷市決定の方は面積の変更と起終点の変更というのがございました。

先ほどありました、広場の中身について、直接審議会で議決するわけではないのですが、ご意見をいただければ、また計画をするときに参考になるかと思いたいで、意見があればおっしゃっていただけるとありがたいと思います。

にぎわいの場、交通、歩行者の安全性、スムーズな自動車の運行ということを考えて提案されてるんだと思います。タクシー、一般車両などの車が多ければ、また問題になるかと思いたいますが、乗降客数と車の数、現在ある面積とを勘案して、この計画になっているということでもあります。

神谷委員　先ほどの加藤英樹委員の質問でちょっと気がついたんですが、その三叉路というのは、図面番号1の下の方、変更後の図の中の赤いところと半城土広小路線の黄色いところ

が接する三叉路をいうんですよね。ここに信号がつかないということは、中町線いわゆる赤いところから来た車は、左折しかできず、右へは行けないということですか。信号がないだけでいけるということですか。

都築都市交通課長　今回、半城土広小路線を主交通として、中町線の通過量を減らすということで、なるべく半城土広小路線を通りやすくする形で整備を考えておりまして、中町線から南進してきた車については右折ができないということは考えておりません。

神谷委員　信号はないけど、右折はできるということですね。分かりました。

瀬口会長　県道の方が優先道路になるので、市道の方から来たら一旦停止して、安全を確認して右折なり左折なりするということになるかと思います。そういうことを確認しておかないと、実際後で手戻りになるということもあると思います。

私の個人的な説明ですが、上天温泉があった前の道路が半城土広小路線なんですね。上天温泉って言っても分かっていただけないかもしれませんが、あるいは向かい側に竹内産婦人科の前の通りですね。

山本委員　にぎわいをつくるということの提案でもありますが、現在、商業者がどんどん減少していることからこのような整理に入るということを冒頭の説明でもありました。今現在は県道に出るところまでに店舗がありますが、北側の店舗が再開発事業の中に入ってるのはわかってるのですが、反対側はずっと営業してると思います。そういう方たちへの影響等はどうなっていくのか、もし答えられたらお願いします。

松井市街地整備課課長補佐　広小路A地区の反対側の区画ということでよろしいですか。

こちらにつきましても、現在、地権者様と事業協力者様の方でどうしていくかを話合っている途中ですので、詳しい内容については、まだお話できないような状態でございます。

都築都市交通課長　一点修正をお願いします。先ほどの説明の中で図面番号3の中手新池線に触れた際、その現状が2車線で、暫定で4車線と記載しているという話をさせていただきましたが、こちらの表記は代表車線数ということで、こちらより

南の方に行きますと4車線になるので、そちらの車線数が代表として記載してあります。図面記載部分につきましては2車線での完成という形になっておりますので、訂正させていただきます。

瀬口会長 はい、わかりました。図面番号3の左下のところですね、4車線って書いてありますが、これはこの路線の代表の車線数で、この部分については2車線で完成している、ということでした。よろしいでしょうか。まだ時間は充分ございますので、みなさんこの際いろいろ意見をお願いします。

議長が質疑の終結を宣言した後、原案どおり意義なしということで議事を終了した。

その他

事務局より、今年度の都市計画審議会は今回で最後となる旨を伝え、令和6年度第3回刈谷市都市計画審議会を閉会した。